

# 実践・現場英会話

友田 和一

静岡大学浜松キャンパス共同利用機器センター 技術部

## 1. はじめに

私は、今年4月に新設された「浜松キャンパス共同利用機器センター」で、多くの装置(分光器、SEM、AFM、XPS など)の維持管理と代替測定・機器使用者へのアドバイスを職務としている。

近年、静岡大学は多くの国で留学生を募集している。特に博士課程の学生を募集する時、「日本語を話せなくてもOK。英語で教育します」としているらしい。そのため、まったく日本語会話をできない留学生が、当センターの測定機器・観察装置を使用または測定依頼に、ひとりで来る場合が多くなっている。この状況では、英語での対応は不可欠となっている。

現在、英語は万国共通の言語となっている。留学生はたいていの場合、英会話を流暢にできる。しかし、日本人は英語ができないと、世界の中で笑い者になっているらしい。中学や高校・大学で長年に渡って英語を勉強したのに、まったく話せない人が大半だと。

私も例外でなく、全然英会話をしたことが無かった。ましてやルーマニア語や中国語、インドネシア語で話されてもまったく理解できない。しかし、職務遂行上、拙い英語力でも対応せざるを得なくなった。そこで試行錯誤の結果、現場で一応通じる英会話を習得したので、その方法を紹介する。

## 2. なぜ英会話ができない?

### 2.1 英会話の必要性

日本語を話せない人が周囲におらず、一般的には海外に出ないと英会話が必要なかった。たとえ外国旅行に行っても、主要な観光地では経済大国である日本語が大抵通じてしまうようだ。この状況では英会話の必要性を感じる事が無かった。

### 2.2 中学校、高等学校の英語教育

英語を習い始めた頃から文法とスペリングを重視し、受験のための教育となっている。そのため英会話としては枝葉末節の、3単現のsが無いので「x」、ピリオドを忘れたので「x」が英語を嫌いにさせてしまう。仮定法過去の構文は多くの人が知っているが、英会話を話せない人が大半という不思議な状況が生まれてしまう。

### 2.3 一般の英会話教室

社会人になった後、英会話の必要性を感じて一般の英会話教室に行っても難しいことを教えてもらい、実際に使える英会話を教えてもらえない。受講者は非常に高額な授業料を取っているので高度なことを教えて欲しいと思っているし、英会話教室側もそれに応えなければ教室を維持できない。

かくして、英会話教室は非常に盛況であるが、そこの修了生の多くが、「英会話に自信が無い」という奇妙なことになってしまう。

### 3. 英会話を楽しもう

#### 3.1 英会話は簡単

日本語はひらがな、カタカナ、そして無数の漢字があり、非常に難しい言語として世界中でも有名だそうだ。それに比べてアルファベットはたったの26文字しかないし、特殊文字まで加えてもとても少ない。さらに文法上も、主語、述語、目的語とすっきりした単純な構造が多く、けっして難しくない。会話は主語がない場合が多く、なお簡単である。

会話をする時には、文法は忘れよう。人間の脳は、文法を考えながら話す内容を組み立てるようにはできていない。過去形、未来形、現在完了・・・などは無視して話してみよう。結構通じること受け合いだ。

要は通じることが大事である。そう、間違えてもいい、私たちは日本人である。

#### 3.2 完璧に話そうとはしない

私たちは英語圏の人間ではないので、ネイティブと同じように話し、完璧に英会話を聞き取るとは本来できない。聴覚野の発達の臨界期はおよそ10歳と言われている。この時期までに「英会話シャワー」を浴びないと英語独特の発音は聞き分けられず、したがって発音もできなくなる。また、今まで受けてきた英語教育の極端な減点主義により、「間違えてはいけない」と呪縛され、話せなくなってしまふ。

話すべき時に下を向いたままじっとしている人は、相手に気味悪がられてしまふ。それが何回もつづくと、まったく相手にされなくなってしまふ。とにかく何か話そう。

#### 3.3 英会話をどんどんチャレンジ

会話の極意は、とにかくまず挨拶と笑顔。Good morning! そして、天候のあいさつ。随所に感謝の気持ちを表現できたら最高! Thank you, so much!

もし、相手の話していることを理解できなかつたら、Say it again, please.と言おう。あるいは Slowly & easy, please.と。

### 4. 参考文献

- [1] 斉藤哲之進:「英語なんか通じりゃいい!」現代書林(2003).
- [2] 池谷裕二:「怖いくらい通じるカタカナ英語の法則」講談社(2008).